

リフォーム製品フェア

問合先 資源リサイクルセンター ☎35-1244 広報ID 1001250

リフォーム製品の販売と修理したおもちゃの無償提供があります。いずれも応募者複数の場合は抽選になります。

応募資格 市民の方(分類ごと1人1点応募できます)

応募期間 9月10日(月)～15日(土) 午前8時30分～午後4時
9月16日(日) 午前10時～正午

抽選会 9月16日(日) 午後1時

※当選者には電話連絡するほか、市HPに当選者の整理番号を掲載します。

場所 資源リサイクルセンター内リフォームセンター(三福寺町)

手話奉仕員養成講座(基礎編)

申込 福祉課 ☎35-3356

問合先 福祉サービス公社 ☎57-7294

聴覚障がい者の生活や手話に関する基礎知識を深め、手話奉仕員としての活動が可能なレベルを目指します。

対象 市内在住で入門編を修了された方(同等レベルの方を含む)

日時 9月25日から平成31年3月12日までの毎週火曜日
午後7時～9時(全21回) **場所** 市役所(花岡町2)

定員 20人(超えた場合は抽選)

参加料 無料(テキスト代別途負担)

申込方法 9月12日(水)までにTEL

空家活用コンテスト 空家物件募集

問合先 建築住宅課 ☎35-3176

Mail:ken-j@city.takayama.lg.jp

社会問題となっている増加する空家に関して、平成30年6月に高山市空家等対策計画を策定し、さまざまな施策に取り組むこととしています。

取り組みの一つとして、今後、市内にある空家を題材とした利活用方法の提案を募集するコンテストを計画しています。

そこで、活用提案の題材とすることが可能な空家を募集します。活用を希望しており、一般公開が可能な空家物件がありましたらご連絡ください。

認知症サポーター養成講座

申込 高年介護課

問合先 ☎35-3178

認知症の主な症状や認知症の人への接し方などについて学びます。講座を受講された方には、認知症サポーターの証である「オレンジリング」をお渡しします。

日時 9月21日(金) 午後1時30分～3時

場所 市図書館「煥章館」(馬場町2)

講師 高井 道子さん(認知症の人と家族の会岐阜県支部)

定員 70人 **参加料** 無料

申込方法 9月20日(木)までにTEL



地震による電気火災対策を!

問合先 消防本部予防課 ☎32-3027

東日本大震災では、原因が特定された地震による火災の過半数が電気関係の出火によるものでした。地震が引き起こす電気関係の火災には、以下のような事例もありました。

<電気火災の事例その1> 地震で本棚が倒れ、雑誌が電気ストーブ周辺に散乱▶停電した状態から通電し、ストーブが作動▶紙類に着火し火災が発生

<電気火災の事例その2> 家具が転倒し、「電気コード」が下敷きや引張で損傷▶通電の瞬間、コードがショート▶散乱した室内で、近くの燃えやすいものに着火

地震による電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です。

地震が起きたとき、必ずしも自宅にいるとは限りません。地震を感知すると自動的にブレーカーを落として電気を止める感震ブレーカーが有効です。

【感震ブレーカーの種類】

分電盤タイプ(内臓型)	分電盤タイプ(後付型)	コンセントタイプ	簡易タイプ
分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを落として電気を遮断。	分電盤に感震機能を外付けするタイプで、漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能。	コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断。	ばねの作動や重りの落下によりブレーカーを落として、電気を遮断。
約5万円～8万円(標準的なもの)	約2万円	約5,000円～2万円	3,000円～4,000円程度
電気工事が必要	電気工事が必要	電気工事が必要なタイプと、コンセントに差し込むだけのタイプがある	電気工事が不要

(注) 住宅分電盤の種類に適した製品をお選びください。

- ★感震ブレーカーの設置の有無に関わらず、自宅から避難する際はブレーカーを切ることも重要です。
- ★夜間等に大規模な地震が発生し、感震ブレーカーが作動した場合、避難時の照明が確保できない可能性があります。一時的な防災対策としても、停電時に作動する足元灯や懐中電灯等の照明器具を常備してください。
- ★感震ブレーカーの設置は義務ではありません。悪質な訪問販売にご注意ください。